

基 本 調 査 票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 6 年 12 月 16 日

設置・運営主体	埼玉県越谷市		
設置主体			
経営主体	社会福祉法人東萌会		
事業所名 (施設名)	埼玉東萌保育園	種別	保育所
所在地	〒 343-0827 埼玉県越谷市川柳町1丁目582番地1		
電 話	048-973-7461		
FAX	048-973-7464		
Email	saitamatoho@tohokai.or.jp		
URL	http://www.tohokai.or.jp/saitamatouhouhoikuen/		
施設長氏名	園長 石井 陽子		
調査対応担当者	須藤 真弓 (所属、職名：)		
利用定員	120 名	開設年	平成 27 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
《保育の理念》 ・一人ひとりの子どもが人間形成の基礎を培えるよう支えます。 ・それぞれの家庭に合わせてやさしく子育てを支えます。 《保育の基本方針》 ・子どもが楽しく過ごせる保育園 ・安心して子どもを託せる保育園			
開所時間 (通所施設のみ)	7時00分～19時00分		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	9	1		
1歳児	18	20	1		
2歳児	24	24	1		
3歳児	24	28	1		
4歳児	24	27	1		
5歳児	24	28	1		
計	120	136	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○保育所の場合

常勤職員数		20 人	
うち	保育士	19 人	保健師・看護師 0 人
	栄養士・調理員	0 人	その他（ ） 0 人
非常勤職員数		9 人（常勤換算 人）	
うち	保育士	7 人（常勤換算	4.37 人）
	保健師・看護師	0 人（常勤換算	人）
	栄養士・調理員	委託 人（常勤換算	人）
	その他（環境整備）	2 人（常勤換算	1.25 人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（２）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1 人	非常勤： 1 人
	退職	常勤： 0 人	非常勤： 0 人
（３）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		35 歳（ 歳）	
（４）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		4.2 年（ 年）	
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

(保育所の場合)

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

- 4 人

- 保育補助、保育の準備、玩具等の消毒

その他（保育士） 7人 その他半日見学実習 22人

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

3 / 5

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ①相談苦情担当者・責任者・第三者委員の保護者周知
 - ・保育園しおり、重要事項説明書、園だよりに記載し保護者に配布及び掲示を行う
 - ・いただいたご意見については保育園の対応を記載しHPにて公開している
- ②保護者意見を伝えやすい環境作り
 - ・登降園送迎時の直接対話、連絡帳への記載を通して、保護者と良好な信頼関係を築き、提供しているサービスに対する意見が言いやすい雰囲気を作っている
 - ・ご意見記入用紙、回収箱を玄関に設置している
 - ・いつでも「個人面談」を受け入れ、保護者が相談しやすいような窓口を設けている
- ③アンケートの実施
 - ・各種調査票（保育参加感想・運動会、表現発表会等のアンケート、満足度調査）の記入をお願いし、よりよいサービスを追求している
 - ・年度末に園の運営や保育に関するアンケートの記入をお願いし、集計した内容を保護者に公開している

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

○少人数担当制……0、1、2歳児期はアタッチメント（愛着）が形成される大切な時期です。当園の0、1、2歳児クラスではこのアタッチメントを大切に、年齢に応じて3～6名のお子様を特定の保育士が主に担当し、こまやかな対応を心がけています。

○コーナー保育……お子様は周りの環境や雰囲気にとっても敏感です。自分にとって居心地の良い場所かどうかということを感じ取ります。保育室は小さなお子様にとっては、ただ広くて落ち着かない場所になりかねません。そこで保育室を睡眠、活動、排泄、食事のスペースに分けます。また、ままごとやブロック、絵本などいろいろな遊びのコーナーを用意し、子どもが好きな遊びに集中できるようにするなど、家庭と同じような環境を作るようにしています。

○食育……食は生命保持の源です。「食育」では、子どもが自分で好きな食を選ぶ能力を身に付けるなど、一人ひとりが自分の健康を守り、健全で豊かな食生活をおくる力を育てます。毎日食べる物への感謝の気持ち、旬の食べ物から季節の移り変わりを感じる心、また五感の働きを通しておいしいと感じる感覚など、体だけでなく「心」も育てます。

○体育遊び……3歳以上児は年齢別年間体育プログラムに基づいて体育遊びを行い、健康な体作りに取り組みます。園のホールでの跳び箱、マット運動、鉄棒等の体育活動を思い切り体を動かして体育遊びを楽しみます。

○リトミック……2歳児組では、リトミック（音楽遊び）を月1回取り入れて活動します。音楽に合わせて楽しみながら体をのびのびと動かすことで、歩く、走る、跳ぶ等の基本的な運動機能の発達を促します。音を聴く力やリズム感を身につけ、様々な音（強弱・長短・早遅・明暗等）を聴き、音に合わせた表現を楽しみます。発達、年齢に合わせた年間プログラムを通して、心身両面の成長を促します。

○知育遊び……3、4、5歳児組について「S I あそび」を取り入れて活動します。「S I あそび」はアメリカの南カリフォルニア大学名誉教授、元全米心理学会会長のJ. P. ギルフォード博士の「S I 理論（知能構造理論）」に立脚した幼児教育プログラムです。意欲と好奇心を引き出しながら、発想力や思考力の成長を後押しします。「S I あそび」の教材は年齢別で編成されており、おおよそ週1回（40分程度）の設定保育です。「S I あそび」の研修を受けた保育者が担当いたしますが、保育士主導の保育ではなく、子ども主体の保育です。出来る出来ないという結果をいっさい問わず、子ども同士を比べたり、競争させたりもしません。一人ひとりに合ったペースで進めていきます。

○姉妹園との交流会……当園の姉妹園である、南越谷保育園（埼玉県越谷市）、南千住七丁目保育園（東京荒川区）、西ヶ原東保育園、西ヶ原南保育園（東京都北区）との交流会を実施しています。埼玉東萌保育園はのどかな自然環境に恵まれています。菜園や芝生コーナーもある緑豊かな保育園です。各園の地域性や環境を生かした交流会を通して、いろいろな子ども達と共に過ごす喜びを味わいます。また、公共機関を利用して各園へ往來することで、社会性、自主性、協調性を身に付けるきっかけとします。

○施設見学……3、4、5歳児組について、地域の社会福祉施設（高齢者施設）や公共施設等を訪問し、様々な人との出会いや体験を通して社会性を育みます。

【第三者評価の受審状況】

- ・ 受審回数（前回の受審時期）

1 回 （令和 元 年度）